

## 第2学年 国語科学習指導案

### 1 単元名 かたかなで書くことば

### 2 単元の目標

- ・ 片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をたくさん集めようとしている。 <関心・意欲・態度>
- ・ 主語・述語の整った文を書くことができる。 <書く>
- ・ 片仮名で書く言葉の種類を理解し、片仮名を正しく使うことができる。 <伝国>

### 3 指導について

#### (1) 単元について

本単元では、片仮名で書く言葉には、「動物の鳴き声」、「いろいろなものの音」、「外国から来た言葉」、「外国の国、土地、人の名前」の4種類があることを学習する。また、片仮名を使った文作りの活動を設定することで、主語と述語や、片仮名の一文字ごとの正しい形を再認識させることができる。さらに、片仮名で書く言葉について考えることを契機として、児童はいろいろな言葉にふれることになる。言葉について考えることを通して、言葉への興味・関心を高め、語彙を拡充する機会にもなる単元である。

#### (2) 児童について

本学級は、言葉遊びや言葉探しを楽しんで行う児童が多い。また、本年度から新聞を活用した授業を行っているが、どの児童も、新聞を使った授業を楽しみにしている。文字に対しての関心も高く、「〇〇の漢字には片仮名の〇が入っている」などの発言をしたり、似た文字を集めたりする児童もいる。その反面、1年生の時に片仮名の読み書きは学習しているが、「〇の片仮名はどんな形だったかな」など、片仮名の文字の定着が不十分なところも見られる。そこで、本単元では、片仮名の一文字ごとの正しい形を確認しながら、新聞を活用して、片仮名で書く言葉の理解を図る。

#### (3) 研究テーマとの関わりについて

本単元では、片仮名で書く言葉を理解したり、4つに分類したりする場面において、児童は困難さを感じるであろうと予想される。そこで、本時では、班活動を設定し、個人で分類した言葉を検討する時間を設ける。児童同士がかかわり合い、考えを伝え合う中で、片仮名で書く言葉の理解が深まると考える。さらに、新聞を使うことで、生活の中にたくさんの片仮名が使われていることを認識し、興味が高まり、実生活で活用しようとする意欲の向上を図る。

### 4 指導計画（全2時間）

- 第1次 片仮名で書く言葉の種類を知り、片仮名を使った文を作る。・・・1時間
- 第2次 片仮名で書く言葉を新聞で探し、分類する。・・・1時間（本時）

### 5 本時の指導計画

#### (1) 本時の目標

- ・ 片仮名で書く言葉に興味をもち、片仮名で表す言葉をたくさん集めようとしている。
- ・ 片仮名で書く言葉の種類を理解できる。

#### (2) 本時の評価規準

- ・ 片仮名で書く言葉を新聞から探している。 <関心・意欲・態度>
- ・ 片仮名で書く言葉を分類し、理解を深めている。 <伝国>

(3) 準備物

学習をまとめた掲示物、付箋、画用紙

(4) 本時の展開

学習活動と予想される児童の反応	教師の支援と評価 (☆は評価)
○前時を振り返る。 ・片仮名で書く言葉には、4種類あった。	・前時の学習を思い出せるように、前時の学習内容をまとめた掲示物を見せる。
<p>かたかなで書くことばをさがして、なか間に分けよう。</p>	
○新聞から片仮名を探して、付箋に書く。 ・○○の所にたくさんある。 ・国の名前を探そう。	・活動の見通しをもたせるために、集めた片仮名を4つに分類することを伝える。 ☆片仮名で書く言葉を新聞から探している。 (付箋、行動観察)
○どの仲間かを考えて、①～⑤の番号を書く。 ・○○は国の名前だ。 ・どの仲間に入るか分からない。⑤にしてみんなに聞いてみよう。	・どの児童も活動が進むようにするために、どこに分類するか分からない言葉には⑤と書くように伝える。 ☆片仮名で書く言葉を分類することができる。 (付箋)
○班で付箋を分類する。 ・私は、○○という言葉を見つけました。△の仲間だと思います。 ・私は、○○という言葉を見つけました。どこに入るか分からないので、後で考えてください。 ・○○は、△ではなくて、□だと思います。	・考えを伝え合える発表にするために、付箋を見せながら発表したり、聞き手の児童は最後に質問をしたりするように伝える。 ☆片仮名で書く言葉の理解を深めることができる。 (画用紙、行動観察)
○他の班の付箋を見回り、質問をする。 ・△のグループが多いな。 ・○○はこっちの仲間じゃないのかな。	・視点をもって見回らせるために、他の班の分類を見て、発見したり、疑問をもったりするように伝える。
○振り返りを書く。 ・△のグループが多かったです。 ・新聞には片仮名がたくさん使われていました。 ・4つの仲間に入らない片仮名もありました。	・振り返りの視点を明確にするために、気づいたこと、発見したことを書くように伝える。

6 授業の観点

新聞から片仮名で書く言葉を探して班で分類する活動は、片仮名で書く言葉の決まりを理解したり、言葉への関心を高めたりするために効果的であったか。

7 反省

8 ご高評